

2022.12.9(金)～2023.1.31(火)

BankART1929

17:00～23:00



この事業はヨルノヨと
連携して実施しています

KITANAKA BRICK & WHITE 歴史広場

(横浜市中区北仲通5-57-2 / みなとみらい線「馬車道駅」2a出口)

主催・問い合わせ: BankART1929 (mail: info@bankart1929.com TEL: 045-663-2812)



開発好明 発泡遺跡

旧横浜生糸検査所付属専用倉庫(輸出前の生糸を保管していた倉庫)の復元施設であるKITANAKA BRICK & WHITEは、地下室に保管された旧建物の部分遺構をガラス張りの床から見る事ができます。このことから着想を得て、歴史広場のガラス張りのドライエリアの地下空間に、開発好明の発泡スチロールによる光の作品が展示されます。

開発好明(かいはつよしあき) | 1966年山梨県生まれ。東京在住。多摩美術大学大学院美術研究科修了、多摩美術大学非常勤講師。1995年～96年にかけて365日の展覧会「365大作戦」を全国で行い、その模様をNHK BS「真夜中の王国」の「開発くんが行く」で放映。「越後妻有大地の芸術祭」には2000年の初回より毎回参加。2002年PS 1 MOMA「Dia del Mar/By the Sea」。2004年ヴェネチア・ビエンナーレ第9回国際建築展日本館「おたく: 人格=空間=都市」。2006年ドイツ、ニューナショナルギャラリー「ベルリン-東京、東京-ベルリン」参加。2008年イギリスのリバプール「Jump Ship Rat "POP-UP"」出品。2016年市原湖畔美術館「開発好明: 中2病展」。2019年東京都現代美術館「あそびのじかん」出品。東日本大震災後、被災地におけるプロジェクトをライフワークとして継続中。ニューヨーク、ドイツ等、海外のレジデンス経験も多数。2012～2018年横浜を拠点に活動。パブリックコレクション: 東京都現代美術館(東京)、バンフアートセンター(カナダ)。